

授業科目名・形態	助産診断・技術学Ⅱ	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	工藤 優子・日沼ゆかり	開講期	3年後期	単位数 1

【授業の主題】

助産診断Ⅰの学びを基に、妊娠期・産褥期・新生児期にある対象者を総合的に捉え、助産診断・助産過程を展開するための健康診査・保健指導について実践技術の学びを深める。また、母乳育児をはじめとした育児支援技術や、乳幼児の健康診査、地域での継続支援について学びを深める。また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念と意義を基盤に、女性のライフスタイル各期の特徴や発達課題から対象者を理解し、女性が生涯にわたって健康な生活を送ることができるような健康教育・援助方法についても学びを深める。

【授業の目標】

1. 妊娠期のフィジカルアセスメントが実施できる。
2. 個別・集団の保健指導ができる。
3. 母乳育児支援、育児支援ができる。
4. 女性が生涯にわたって健康である支援を考えることができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 妊娠期の助産診断過程展開
- 第2回 妊娠期の助産診断過程展開
- 第3回 妊娠期のフィジカルアセスメント
- 第4回 妊娠期のフィジカルアセスメント
- 第5回 保健指導総論
- 第6回 保健指導
- 第7回 マタニティクラスの計画と実践
- 第8回 マタニティクラスの計画と実践
- 第9回 母乳育児支援
- 第10回 母乳育児支援
- 第11回 母子家庭訪問,1ヶ月健診
- 第12回 リプロヘルスサポーターの役割
- 第13回 地域における助産師活動の実践(日沼)
- 第14回 地域における助産師活動の実践(日沼)
- 第15回 更年期・老年期の特徴と健康教育

【授業実施方法】 講義・演習

【授業準備】 講義内容をふまえ、関連する教科書の範囲を読んでおくことと復習をすること。

【教科書等】 助産学講座 5・6・7・8 (医学書院)

【参考資料】 随時資料配布

【成績評価方法】 レポート・演習 50%、試験 50%などで総合的に評価する。

【関連する科目】 「助産診断・技術学Ⅰ」

【学生へのメッセージ】 母親自身が選択し自信をもって子育てをしていける支援と、女性の健康にかかわる助産師の重要性を学習しましょう。